取扱説明書 保管用

ＬＥＤペンダント

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕　様

品　番	適合ランプ	消費電力	適合電圧
PD-2639-L	東芝製　LDF7L-W-GX53/3×3灯（電球色相当）	20.1W	AC100V（±6%）

この取扱説明書のマークについて

⚠警 告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注 意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

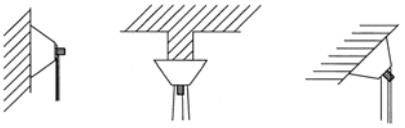
取り付け・取り扱い上の注意

⚠警 告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

次のような場所には取り付けないでください。（右図）
★いずれの場合も器具の落下による事故、その他の破損やけがの原因となります。
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凹凸のある面には取り付けないでください。
○サウナへの使用


壁面　不安定な場所　傾斜した場所

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

布や紙などの燃えやすい物で覆ったり、被せたりしないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

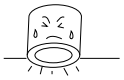
濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

⚠注 意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



変形したセードは使用しないでください。
★セードの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるセードのヒビ割れなどの原因となります。

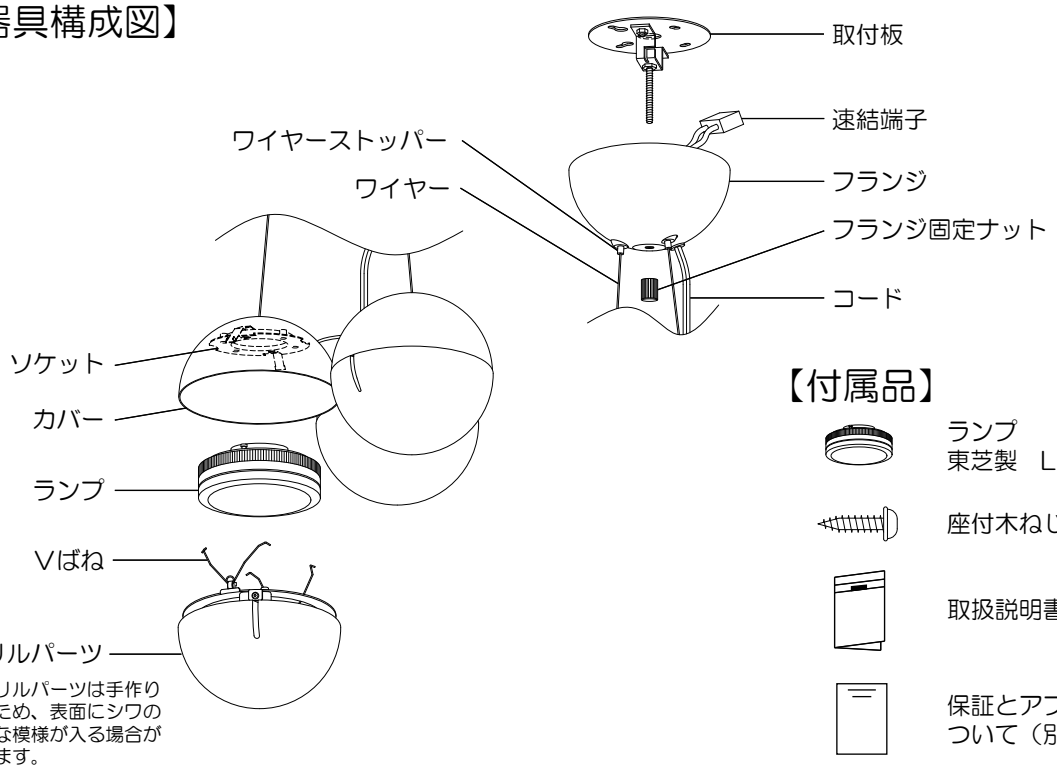
温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くで使用しないでください。
★器具、セードの変形や火災の原因となります。

※同品名商品のＬＥＤ光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承ください。
※照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
※他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

各部の名称

説明図は、一部省略抽象化した図です。
不足している部品などがあった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。

【器具構成図】



※アクリルパーツは手作り品のため、表面にシワのような模様が入る場合があります。

【付属品】

ランプ
東芝製　LDF7L-W-GX53/3・・3個

座付木ねじ・・・・・・・・・・・2本

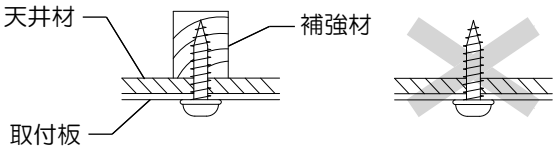
取扱説明書（本書）・・・・・・1枚

保証とアフターサービスについて（別紙）・・・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠警告 ❗ 器具を木ねじで取り付ける場合は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠注意 ❗ 建物の構造によっては、付属の木ねじでは取り付けられないことがまれにあります。
そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ねじにて取り付けてください。



取り付けかた　⚠注 意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗ 器具取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、VVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故となります。

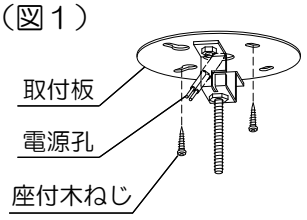
1．取付板をセットします。（図1）
①電源線を取付板の電源孔に通します。
②付属の座付木ねじで取付板を固定します。

2．電源線を接続します。（図2）
①電源線を速結端子のゲージ（１２mm）に合わせて剥きます。
②電源線を電源線差込穴に差し込みます。

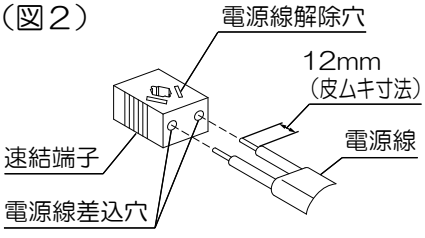
※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーを電源線解除穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

3．フランジをセットします。（図3）
①落下防止ワイヤーを取付板の溝に引掛けます。
②フランジを取付板にフランジ固定ナットで締めて固定します。

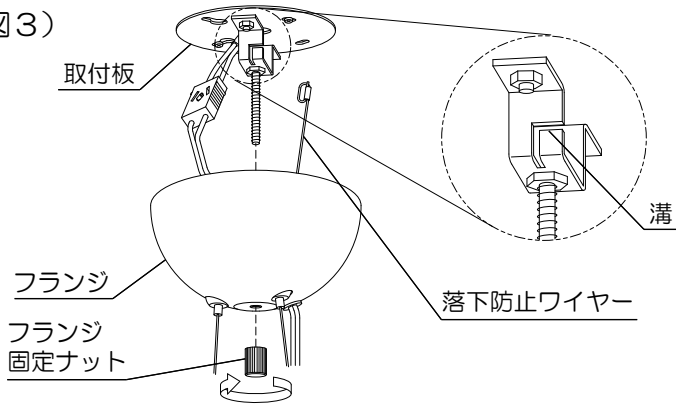
（図1）



（図2）



（図3）

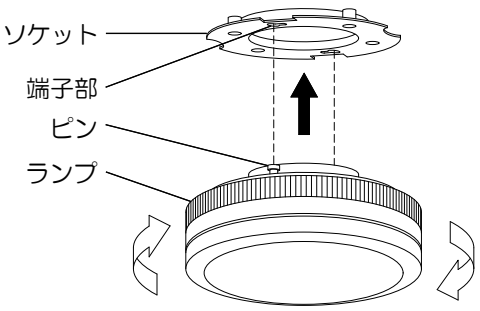


4．ランプを取り付けます。（図4）

①ソケットの端子部とランプのピンの位置が合うように
ランプを押し上げます。
②カチッとなるまでランプを右に回してください。

⚠注意 ❗ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプの破損の原因となります。

（図4）

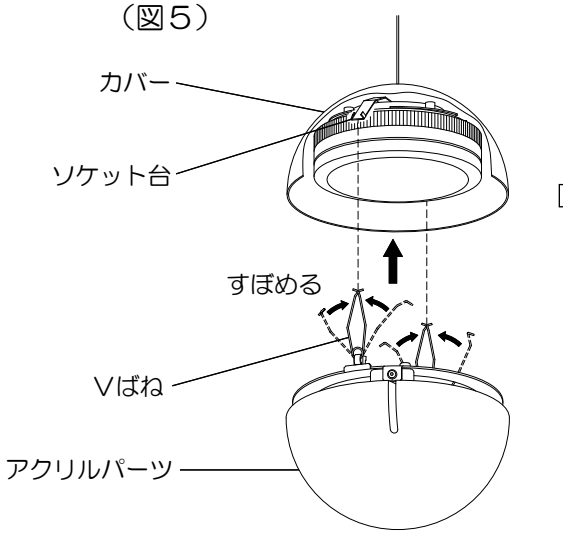


5．アクリルパーツを取り付けます。

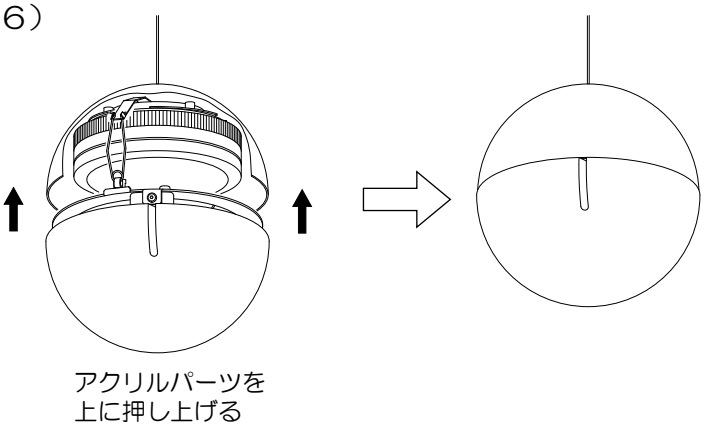
①Vばね2個をすぼめてそれぞれソケット台に引掛けます。（図5）
②アクリルパーツを真っ直ぐ上に押し上げます。（図6）

⚠注意 ❗アクリルパーツは確実に取り付けてください。
★アクリルパーツの落下による破損、けがの原因となります。

（図5）



（図6）



吊り下げ高さの調整　⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

ワイヤー調整金具を調節してお好みの高さに設定します。
最大高＝1．2m（出荷時のもの）　～　最小高＝0．5m

●ワイヤーストッパーの調節のしかた

a）短くする場合（図7）

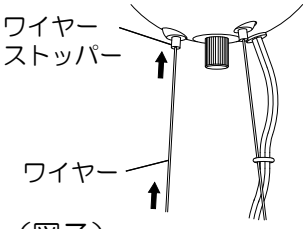
①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながら
ストッパーの中にワイヤーを真っ直ぐに押し込み
ます。
②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

b）長くする場合（図8）

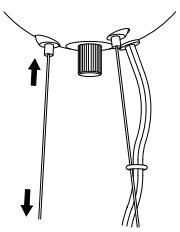
①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながら
ワイヤーを真下に引き出します。
②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

●コードの調節のしかた（図9）

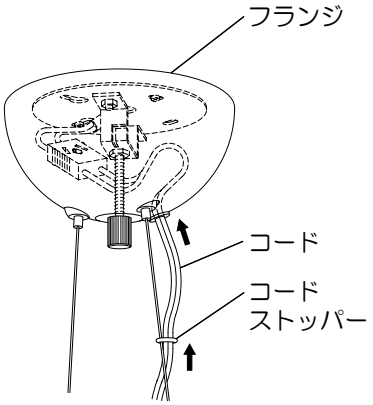
フランジの中へコードを真っ直ぐに押し込みます。
コードの長さに合わせてコードストッパーを適当な
位置に移動しコードの遊びを調整してください。



（図7）



（図8）



（図9）

スイッチ操作

●壁スイッチにて「ON−OFF」操作を行います。

お手入れについて　　⚠注 意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注 意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

🚫 ●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。

●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 ●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

ランプの交換

■ランプ使用上のご注意

●LED照明器具の光源寿命（※）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）

※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

1．スイッチを切ります。

⚠注意　ランプ交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2．アクリルパーツを取りはずします。

①片手でカバーを押さえながらもう片手でアクリルパーツを下に引張ります。（図10）
②ソケット台からVばねをはずしてください。

3．ランプを交換します。

①ランプを左に回し、取りはずしてください。
②「取り付けかた」の「4．ランプを取り付けます。」を参照し、ランプを取り付けてください。

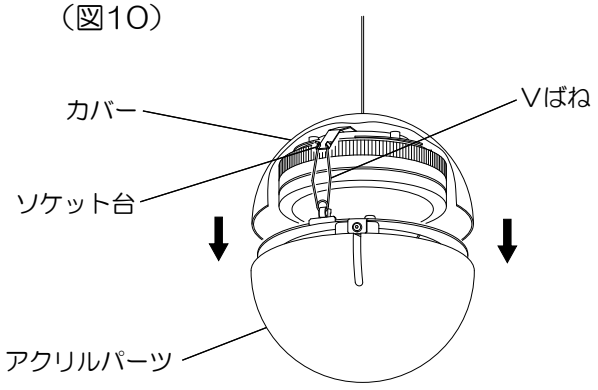
⚠注意　ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。

4．アクリルパーツを取り付けます。

「取り付けかた」の「5．アクリルパーツを取り付けます。」を参照し、アクリルパーツを取り付けてください。

⚠注意　アクリルパーツは確実に取り付けてください。
★アクリルパーツの落下による破損、けがの原因となります。

（図10）



アクリルパーツを
下に引張る

■お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．軽くハタキをかけるか、柔らかいハケ、ブラシでほこりを取り除きます。
3．金具部分の汚れは柔らかい布で拭き取ります。

⚠注意　洗剤などの薬品等は使用しないでください。
★アクリルパーツの変形や破損の原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。